



かなざわ幼児教育みちしるべとは

これまで行政や各施設が取組んできた独自性や先進性をさらに発展、充実させ、子どもを中心とした考えのもと、子どもたちの育ちを捉えた本市の幼児教育の方向性について表したものです。

各施設は「金沢市の幼児教育・保育の視点」と「各施設における教育・保育理念」を土台として、乳幼児期にふさわしい生活の展開を意識し、遊びを通した総合的な教育の実践を積み重ねていきます。

また、家庭とともに、子どもたちの情緒が安定するよう配慮し、健康な心と体を育みながら、「伸びゆく力」を下支えし、成長を後押ししていきます。

この「みちしるべ」を利用することで、家庭や地域と幼児教育について相互理解を深めることや育ちの連続性を大切にした学校との円滑な接続にも繋がります。

伸びゆく力

学ぼうとする力

気付き 発見の喜び 思考力 判断力
好奇心 探究心 感性と表現力 自発性

自分に関する力

興味 関心 自己肯定感 自信
自立心 自己調整力 粘り強さ

人と関わる力

親近感 自己表現 共感 思いやり
協同性 協調性 規範意識の芽生え

健康な心と体

愛着の形成

基本的生活習慣の育成

各施設における教育・保育理念

金沢市の幼児教育・保育の視点

- ・子ども一人一人の主体性や個性を大切にする
- ・多様性を認め、様々な体験の中から学ぶことを大切にする
- ・家庭（保護者）とともに子どもの育ちを支援する
- ・地域とともに育む

伸びゆく力とは

幼児教育・保育施設における乳幼児期にふさわしい生活の展開を意識し、遊びを通した総合的な教育の実践を行う中で育まれる資質や能力で、指針や要領の中で記述されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の資質・能力を基軸にし、3つの力に再構成したものです。

これを用いて、施設や家庭、学校及び地域が子どもの育ちについて共通理解を図っていきます。

この「伸びゆく力」は、子どもたち一人一人に備わっている潜在的な力であり、到達点ではなく、あくまでもプロセスとして表したものです。

【自分に関する力】

安心、安定した環境の中で認められ、自分自身を大切に思えること。

時には、葛藤したり気持ちに折り合いをつけたりしながら、自信を持って積極的かつ粘り強く物事や人と向き合うこと。



【人と関わる力】

様々な人と関わり、自分を発揮・表現する中で、他者を認め、伝え合ったり、力を合わせたりしながらともに生活を作り、自らの考えを広げること。



【学ぼうとする力】

直接的・具体的な体験の中で、様々な気付きや発見に心を動かし、自らの考えを働かせながら、活動の中で試行錯誤を繰り返し、身の回りの事象を捉え、意味を見だし、さらに関わろうとすること。



金沢市幼児教育センター

目的



未来を担う子どもたちの健やかな育成をめざし、幼児教育の質の向上を図るための幼児教育推進の拠点として開設されました。

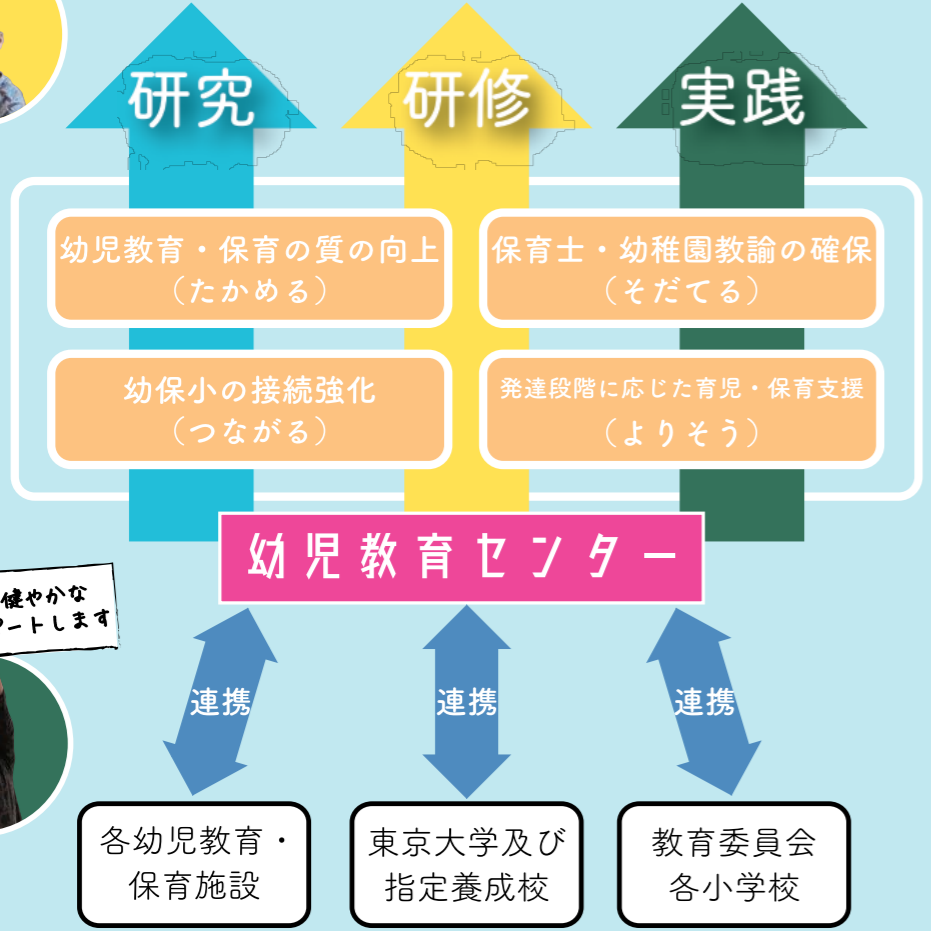
各幼児教育・保育施設の独自性を尊重しつつ、これまでの取り組みの先進性をさらに発展させるとともに、東京大学発達保育実践政策学センター（Cedep）や保育士・幼稚園教諭養成校と連携することで、実践的な幼児教育の推進体制を構築します。

概要



事業の4つの柱と連携体制

事業の4つの柱・3つの機能（研究・研修・実践）で推進



子どもの健やかな育ちをサポートします



MAP & ACCESS

金沢市 幼児教育センター
Kanazawa Early Childhood Education Center

〒921-8171 石川県金沢市 富樫3丁目10番1号
金沢市教育プラザ富樫2号館 TEL 076-243-1018



金沢市

制作
金沢市
デザイン・撮影
認定 NPO 法人金沢アートグミ